

令和 8 年 8 月 7 日
企業局 管理部 財務課
043-307-1239

令和 7 年度 企業局の決算見込みの概要について

1 上水道事業

- ・収益的収支は、企業が使用した水量が増加したことなどにより給水収益が増加したものの、自家発電設備の更新等による減価償却費の増加や単価の上昇に伴う薬品費の増加などにより、**純利益は 34 億円**（前年度比 15 億円減、30.3%減）となりました。
- ・資本的収支は、大規模事業の進捗に伴い建設事業費が一時的に減少したものの、企業債発行額を前年度と同程度としたため、収支不足額は減少しました。
- ・その結果、純利益の減少などにより、補てん財源としての**資金残高は 183 億円**（前年度比 29 億円減、13.7%減）となりました。
- ・本年 4 月 1 日から水道料金を改定したことにより、当面の間は赤字や資金不足に陥ることなく、施設・設備の更新を計画に沿って進めていくことができる見込みであり、引き続き将来にわたって安全な水を安定して供給してまいります。

2 工業用水道事業

- ・収益的収支は、給水収益が前年度と同程度となった一方、浄水場等施設設備の更新による減価償却費等の増加などにより、**純利益は 11 億円**（前年度比 2 億円減、15.0%減）となりました。
- ・資本的収支は、造成土地管理事業からの出資の終了による収入の減少や、老朽化施設設備の更新などによる建設事業費の増加などにより、収支不足額は増加しました。
- ・この結果、補てん財源としての**資金残高は 337 億円**（前年度比 37 億円減、10.0%減）となりました。
- ・今後も、物価高騰の影響による様々な経費の増加などにより厳しい収支状況となることが見込まれますが、業務の効率化や経費の節減を図りながら、安定給水を維持するために必要な施設の更新・耐震化事業を着実に進めてまいります。

3 造成土地管理事業

- ・収益的収支は、大口の分譲があり、土地分譲収益が増加したことなどから、**純利益は 61 億円**（前年度比 47 億円増、361.1%増）、補てん財源としての**資金残高は 1,035 億円**（前年度比 26 億円増 2.6%増）となりました。
- ・今後は、保有する土地の処分を進めるとともに、本県が進める産業用地の整備に取り組み、引き続き地域経済の発展への貢献に努めてまいります。

※令和 8 年度から企業局が引き継いだ九十九里・南房総地域の水道用水供給事業の決算見込みについて、参考に関連情報を記載しています。

1 上水道事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益	65,689	65,208	481	0.7
	給水申込納付金	4,325	4,403	△ 78	△1.8
	長期前受金戻入	7,610	7,620	△ 10	△0.1
	他会計補助金	629	53	576	1,086.8
	その他	7,567	7,899	△ 332	△4.2
	計 A	85,820	85,183	637	0.7
支 出	人件費	6,850	6,534	316	4.8
	動力費	3,709	3,739	△ 30	△0.8
	修繕費	7,814	7,668	146	1.9
	薬品費	3,862	3,331	531	15.9
	委託料	10,589	10,001	588	5.9
	減価償却費等	32,600	31,903	697	2.2
	支払利息	1,974	1,816	158	8.7
	その他	11,107	10,971	136	1.2
	計 B	78,505	75,963	2,542	3.3
収支差 C=A-B		7,315	9,220	△ 1,905	△20.7
純利益(消費税調整後)		3,365	4,829	△ 1,464	△30.3

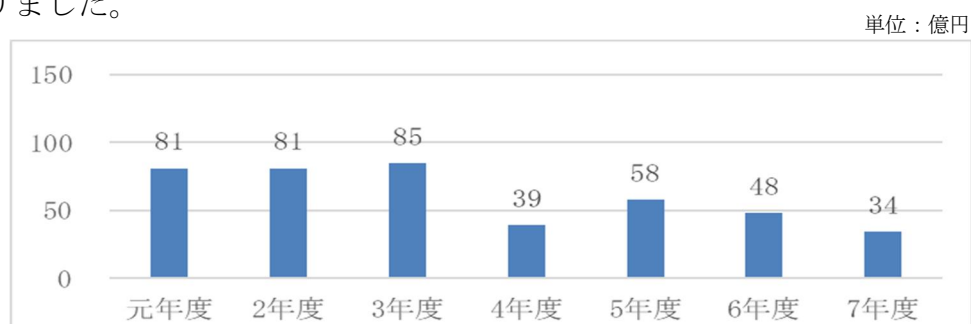
(ア) 収益的収入：前年度に比べ 6 億円増の 858 億円

- ・企業が使用した水量が増加したことなどにより給水収益が 4 億 81 百万円増加

(イ) 収益的支出：前年度に比べ 25 億円増の 785 億円

- ・自家発電設備の更新などにより減価償却費等が 6 億 97 百万円の増加
- ・労務単価の上昇などにより委託料が 5 億 88 百万円の増加
- ・薬品単価の上昇などにより薬品費が 5 億 31 百万円の増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 15 億円減の 34 億円となりました。



イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	企業債	22,000	21,000	1,000	4.8
	その他	4,034	3,056	978	32.0
	計 A	26,034	24,056	1,978	8.2
支 出	建設事業費	48,660	52,043	△ 3,383	△6.5
	企業債償還金	12,204	11,990	214	1.8
	その他	268	256	12	4.7
	計 B	61,132	64,289	△ 3,157	△4.9
収支差 C=A-B		△ 35,098	△ 40,233	5,135	12.8

(ア) 資本的収入：前年度に比べ 20 億円増の 260 億円

- ・ 企業債は、資金の状況等を踏まえ前年度と同程度で 10 億円の増加
- ・ 新庁舎整備事業の精算に伴う一般会計負担金 9 億 90 百万円の増加

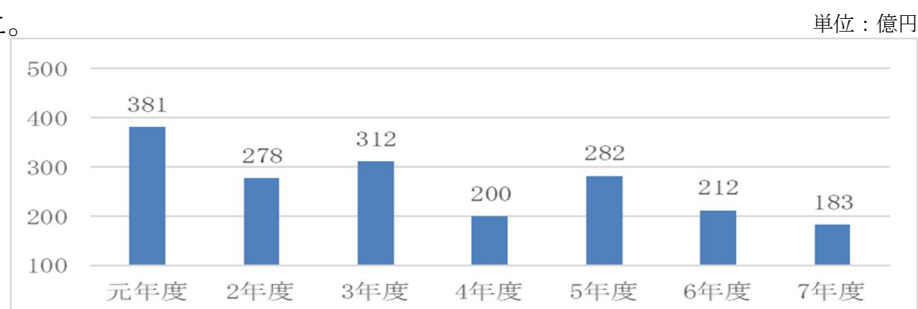
(イ) 資本的支出：前年度に比べ 32 億円減の 611 億円

- ・ 大規模事業の進捗に伴い一時的に建設事業費が 33 億 83 百万円の減少

(ウ) この結果、資本的収支が 351 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

(2) 資金残高

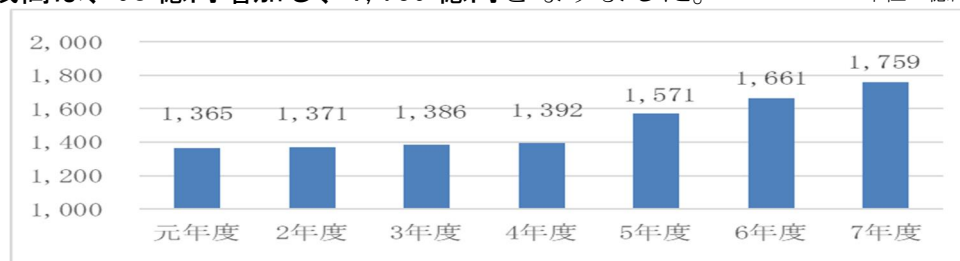
補てん財源としての資金残高は、29 億円減少し、183 億円となりました。なお、引当金や未払金など用途に限定のあるものを加えた現金預金残高は 354 億円となりました。



(3) 企業債残高

企業債残高は、98 億円増加し、1,759 億円となりました。

単位：億円



2 工業用水道事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	給水収益等	12,506	12,503	3	0.0
	長期前受金戻入	1,299	1,283	16	1.2
	その他営業外収益	128	163	△ 35	△21.5
	その他	274	48	226	470.8
	計 A	14,207	13,997	210	1.5
支出	人件費	1,054	1,021	33	3.2
	動力費	999	916	83	9.1
	減価償却費等	6,004	5,864	140	2.4
	委託料	2,138	2,096	42	2.0
	修繕費	610	552	58	10.5
	負担金	1,247	1,238	9	0.7
	その他	326	468	△ 142	△30.3
	計 B	12,378	12,155	223	1.8
収支差 C=A-B		1,829	1,842	△ 13	△0.7
純利益(消費税調整後)		1,056	1,242	△ 186	△15.0

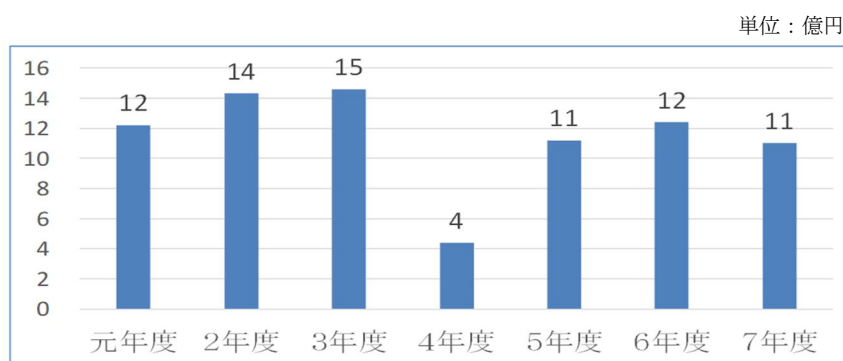
(ア) 収益的収入：前年度に比べ 2 億円増の 142 億円

- ・給水収益等は、横ばい。
- ・その他収入は、預金金利の上昇などにより、2 億 26 百万円増加

(イ) 収益的支出：前年度に比べ 2 億円増の 124 億円

- ・動力費は、電気使用量の増などにより 83 百万円増加
- ・減価償却費等は、浄水場等施設設備更新の進捗などにより 1 億 40 百万円増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 2 億円減の 11 億円となりました。



イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	890	1,015	△ 125	△12.3
	出資金	0	3,000	△ 3,000	皆減
	国庫補助金	352	448	△ 96	△21.4
	工事負担金等	134	137	△ 3	△2.2
	計 A	1,376	4,600	△ 3,224	△70.1
支出	建設事業費	8,659	6,721	1,938	28.8
	企業債償還金	1,680	1,794	△ 114	△6.4
	他会計借入金返還金	1,000	1,000	0	0.0
	その他	311	320	△ 9	△2.8
	計 B	11,650	9,835	1,815	18.5
収支差 C=A-B		△ 10,274	△ 5,235	△ 5,039	△96.3

(ア) 資本的収入：前年度に比べ 32 億円減の 14 億円

- ・ 出資金は、造成土地管理事業会計からの出資が終了したことにより、30 億円減少

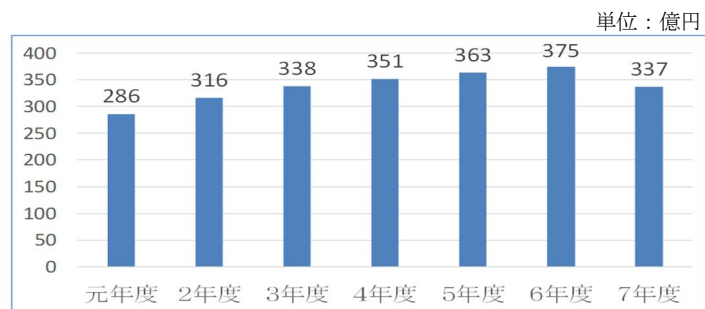
(イ) 資本的支出：前年度に比べ 18 億円増の 117 億円

- ・ 建設事業費は、施設更新・耐震化事業の増などにより 19 億 38 百万円増加

(ウ) この結果、資本的収支が 103 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

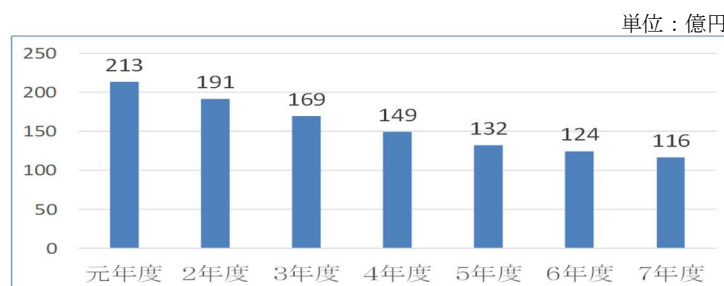
(2) 資金残高

補てん財源としての資金残高は、37 億円減少し、337 億円となりました。なお、引当金や未払金など用途に限定のあるものを加えた現金預金残高は 361 億円となりました。



(3) 企業債残高

企業債残高は、前年度に比べ 8 億円減少し、116 億円となりました。



3 造成土地管理事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	土地分譲収益	5,760	4,034	1,726	42.8
	土地貸付収益	2,503	2,530	△ 27	△1.1
	その他	3,122	2,638	484	18.3
	計 A	11,385	9,202	2,183	23.7
支 出	土地分譲原価	1,385	2,144	△ 759	△35.4
	人件費	1,262	1,069	193	18.1
	委託料	173	350	△ 177	△50.6
	負担金	876	502	374	74.5
	減価償却費等	257	307	△ 50	△16.3
	その他	1,381	3,539	△ 2,158	△61.0
	計 B	5,334	7,911	△ 2,577	△32.6
収支差 C=A-B		6,051	1,291	4,760	368.7
純利益(消費税調整後)		6,059	1,314	4,745	361.1

(ア) 収益的収入：前年度に比べ 22 億円増の 114 億円

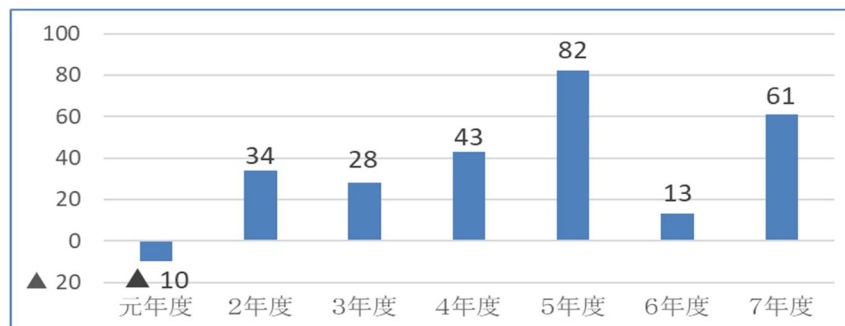
- ・土地分譲収益は、大口の分譲があったことにより 17 億 26 百万円増加

(イ) 収益的支出：前年度に比べ 26 億円減の 53 億円

- ・土地分譲原価は、7 億 59 百万円減少
- ・その他の費用は、補償費の減などにより 21 億 58 百万円減少

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 47 億円増の 61 億円となりました。

単位：億円



イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	貸付金返還金	1,265	1,310	△ 45	△3.4
	その他	90	253	△ 163	△64.4
	計 A	1,355	1,563	△ 208	△13.3
支 出	建設改良費	2,310	1,387	923	66.5
	出資金	0	3,000	△ 3,000	皆減
	有価証券取得費	4,000	4,000	0	0.0
	その他	137	50	87	174.0
	計 B	6,447	8,437	△ 1,990	△23.6
収支差 C=A-B		△ 5,092	△ 6,874	1,782	25.9

(ア) 資本的収入：前年度に比べ 2 億円減の 14 億円

- ・その他収入は、新庁舎建設に係る知事部局負担金の減により、前年度に比べ 1 億 63 百万円減の 90 百万円

(イ) 資本的支出：前年度に比べ 20 億円減の 64 億円

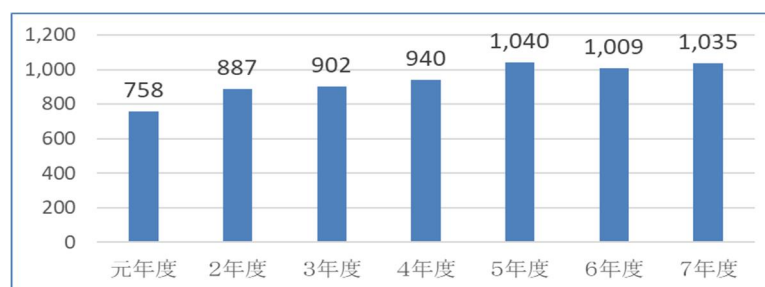
- ・建設改良費は、新庁舎整備事業の増などにより 9 億 23 百万円増加
- ・出資金は、工業用水道事業会計への出資が終了したことにより 30 億円減少

(ウ) この結果、資本的収支が 51 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

(2) 資金残高

補てん財源としての資金残高は、26 億円増加し、1,035 億円となりました。なお、引当金や未払金など用途に限定のあるものを加えた現金預金残高は 1,070 億円となりました。

単位：億円



(3) 未処分土地の状況

令和 6 年度末に 147 ヘクタールあった未処分土地は 2 ヘクタール減少し、令和 7 年度末では 145 ヘクタールとなりました。

[参 考 1]

1 上水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和8年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	802,501	負債	固定負債	169,419
流動資産	49,231		流動負債	37,322
			繰延収益	196,268
		資本金・剰余金		448,723
合計	851,732	合計		851,732

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
純利益	8,095	8,076	8,519	3,894	5,828	4,829	3,365
対前年度増減額	△ 1,777	△ 19	443	△ 4,625	1,934	△ 999	△ 1,464

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
資金残高	38,073	27,755	31,223	20,017	28,182	21,187	18,283

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

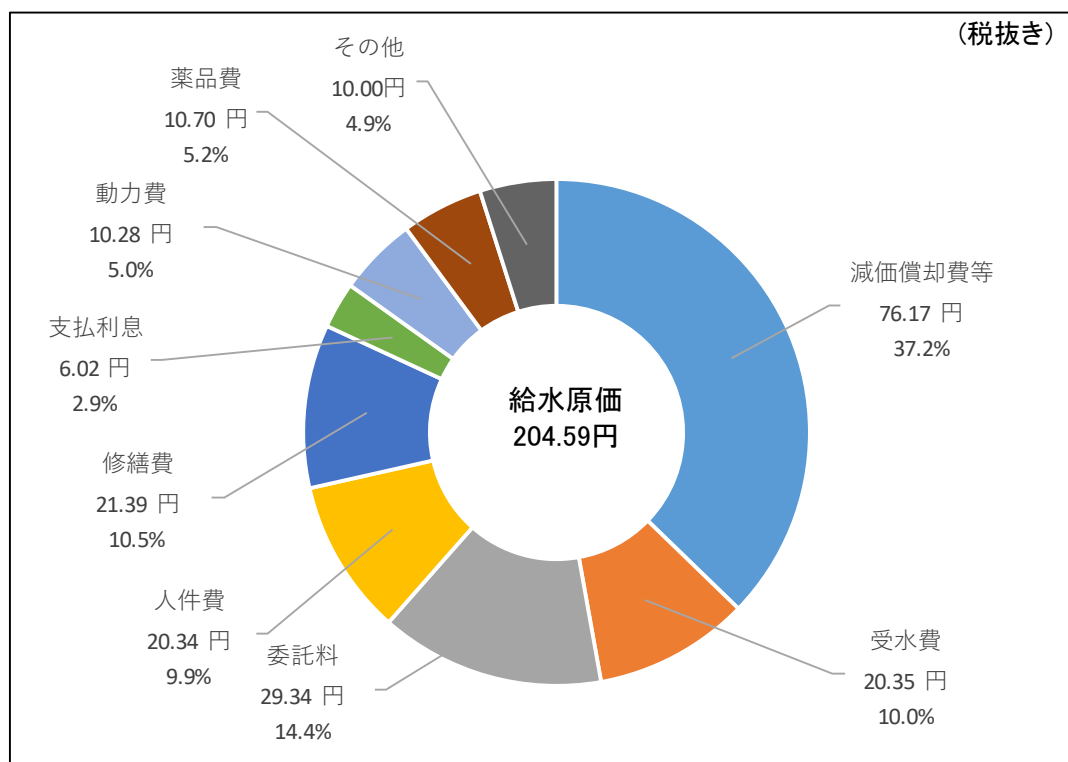
区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
借入額	10,000	12,000	13,500	13,000	31,000	21,000	22,000
企業債償還額	11,072	11,427	12,048	12,406	13,037	11,990	12,204
企業債残高	136,536	137,109	138,561	139,155	157,118	166,128	175,924

(5) 業務状況

項 目	7年度 a	6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
給水戸数 (千戸)	1,606	1,593	13	0.8%
年間総給水量 (千 m^3)	317,455	315,720	1,735	0.5%
有収水量(収入の対象となる水量) (千 m^3)	304,776	303,630	1,146	0.4%
有収率(有収水量÷年間総給水量) (%)	96.0	96.2	$\triangle 0.2$	$\triangle 0.2\%$
一日平均給水量 (千 m^3)	870	865	5	0.6%
一日最大給水量 (千 m^3)	1,019	992	27	2.7%
供給単価(1 m^3 当たりの売上単価) (円)	198.81	198.05	0.76	0.4%
給水原価(1 m^3 当たりの製造原価) (円)	204.59	197.92	6.67	3.4%
職員数 (人)	951	950	1	0.1%

(6) 給水原価の構成

給水原価は、水道水1 m^3 をつくるために要した費用で、令和7年度は204.59円(税抜き)です。
 なお、上水道事業は、事業運営に係る経費のほとんどを水道料金で賄う独立採算制です。



2 工業用水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和8年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	158,722	負債	固定負債	30,635
流動資産	38,011		流動負債	6,164
			繰延収益	33,381
		資本金・剰余金		126,553
合計	196,733	合計		196,733

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
純利益	1,224	1,431	1,458	436	1,119	1,242	1,056

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
資金残高	28,643	31,565	33,809	35,121	36,305	37,474	33,730

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
企業債借入額	357	53	25	69	123	1,015	890
企業債償還額	2,379	2,329	2,229	1,982	1,911	1,792	1,680
企業債残高	21,338	19,062	16,858	14,945	13,157	12,380	11,590

3 造成土地管理事業会計

(1) 貸借対照表(令和8年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	362,994	負債	固定負債	1,270
完成資産	44,324		流動負債	3,158
未成資産	0		繰延収益	0
流動資産	107,298	資本金・剰余金		510,188
合計	514,616	合計		514,616

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
純利益	△ 978	3,350	2,776	4,349	8,222	1,314	6,059

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
資金残高	75,838	88,675	90,166	94,048	103,999	100,919	103,515

(4) 未処分土地の推移

(単位:ha)

区 分	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
処分面積	2	8	2	4	19	2	2
年度末未処分土地	182	174	172	168	149	147	145

[参 考 2]

令和7年度九十九里地域水道企業団及び南房総広域水道企業団の決算見込みの概要

九十九里・南房総地域の水道用水供給事業は、令和8年4月1日に千葉県企業局が引き継ぎました。

1 九十九里地域水道企業団水道用水供給事業会計

(1) 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益	6,159	6,082	77	1.3
	長期前受金戻入	542	531	11	2.1
	その他	135	195	△ 60	△30.8
	計 A	6,836	6,808	28	0.4
支 出	人件費	630	598	32	5.4
	動力費	276	279	△ 3	△1.1
	修繕費	662	610	52	8.5
	薬品費	659	570	89	15.6
	委託料	490	471	19	4.0
	減価償却費等	2,750	2,717	33	1.2
	特別損失	568	157	411	261.8
	その他	850	913	△ 63	△6.9
計 B		6,885	6,315	570	9.0
収支差 C=A-B		△ 49	493	△ 542	△109.9
純利益(消費税調整後)		△ 264	329	△ 593	△180.1

(2) 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	企業債	142	365	△ 223	△61.1
	国庫補助金	10	4	6	150.0
	その他	0	0	0	—
	計 A	152	369	△ 217	△58.8
支 出	建設事業費	2,276	1,823	453	24.8
	企業債償還金	483	489	△ 6	△1.2
	その他	217	116	101	87.1
	計 B	2,976	2,428	548	22.6
収支差 C=A-B		△ 2,824	△ 2,059	△ 765	△37.2

※資本的収支における2,824百万円の不足額は、損益勘定留保資金等で補てん

○補てん財源としての資金残高 62億円 (R6末:64億円)

○企業債残高 29億円 (R6末:32億円)

2 南房総広域水道企業団水道用水供給事業会計

(1) 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益	3,153	3,129	24	0.8
	長期前受金戻入	944	932	12	1.3
	その他	89	4	85	2,125.0
	計 A	4,186	4,065	121	3.0
支 出	人件費	252	233	19	8.2
	動力費	155	153	2	1.3
	修繕費	285	256	29	11.3
	薬品費	330	298	32	10.7
	委託料	291	269	22	8.2
	減価償却費等	2,116	2,083	33	1.6
	特別損失	16	0	16	皆増
	その他	522	542	△ 20	△3.7
計 B		3,967	3,834	133	3.5
収支差 C=A-B		219	231	△ 12	△5.2
純利益(消費税調整後)		△ 8	165	△ 173	△104.8

(2) 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R7年度 a	R6年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	企業債	0	188	△ 188	皆減
	国庫補助金	0	0	0	-
	その他	0	0	0	-
	計 A	0	188	△ 188	皆減
支 出	建設事業費	2,448	728	1,720	236.3
	企業債償還金	237	318	△ 81	△25.5
	その他	93	32	61	190.6
	計 B	2,778	1,078	1,700	157.7
収支差 C=A-B		△ 2,778	△ 890	△ 1,888	△212.1

※資本的収支における 2,778 百万円の不足額は、損益勘定留保資金等で補てん

○補てん財源としての資金残高 54 億円 (R6 末:70 億円)

○企業債残高 19 億円 (R6 末:22 億円)